



◆巻頭言

土曜 18:00「今週何かいいことありましたか？」で始まる西田敏行の「人生の楽園」ご存知の方が多くと思います。都会で仕事をした人間がリタイヤし田舎に移住し、そこで生き生きと生きているかを描いている。接する地元の人たちは、都会の人間関係と大違いで、誰もが親切で、何かと面倒を見てくれる。

海と山、自然に囲まれた暮らし「豊かな第二の人生」に憧れている人が多いからこの番組が高視聴率を得ているのだろう。とは言え(BUT)先立つものは軍資金、お金が無くては移住も夢見た生活もできない。一番の難問は永年連れ添った、つれあいがなんと言うやら。



憧れを抱きつつシミュレーションだけにしておこう。

特にこれといってしたいことも無いし、働ける間は働き、その後そこそこ楽しい一日一日が過ごせればいいのではないか。

月に1,2度瀬上に来て山の整理をし10年50年後を夢見、少しは人の役に立っているかなと、自己満足しそれで納得しよう。(渡部記)

次回の予定 ● 30年3月、4月活動予定

お願い：4月に開催します『会員総会』への出欠連絡は3月26日までに山上部会長
にお願いします。3月25日に持参した方には big プレゼントがあります。

① 日時：3月11日(日) 9:30~14:30 定例作業

- ・集合場所：池の下広場倉庫前
- ・集合時間：9:30
- ・作業場所：いっしんどうエリア
- ・作業目的：景観保全型落葉広葉樹林を目指した保全作業
- ・作業内容：草刈り(ササ刈り)と移植実生樹の根巻き作業
- ・持ち物：常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ、カケヤ、スコップ

② 日時：3月25日(日) 9:30~14:30 定例作業

Big プレゼント日(お弁当は部会が用意します)

- ・集合場所：池の下広場倉庫前
- ・集合時間：9:30
- ・作業場所：道場丸作業エリア(区域B)
- ・作業目的：景観保全型落葉広葉樹林を目指した保全作業。

- ・作業内容: ササ刈りと林床整理
: 部会総会(花見、会費500円)
※飲み物(アル●●●)は各自が適量持参のこと
- ・持ち物: 常備具(竹引きの子・カマ・手ノコ・ナタ)、飲料水、他必需品
【持参器具】作業旗、シート、救急箱

③ 日時: 4月8日(日) 9:30~14:30 定例作業

- ・集合場所: 池の下広場倉庫前 ・集合時間: 9:30
- ・作業場所: 道場丸作業エリア(区域B)
- ・作業目的: 景観保全型落葉広葉樹林を目指した保全作業
- ・作業内容: ササ刈りと林床整理と区域Bのモニタリング
- ・持ち物: 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品
【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェンソー、チルホール、カケヤ

④ 日時: 4月14日(土) 14:00~ 瀬上さとやまもりの会会員総会

- ・開催場所: 港南台せきれい団地自治会館
- ・会員総会: 14:00~15:30(会員総会招集案内を参照)
- ・懇親会: 総会終了後~17:30まで

(※) 出欠連絡は3月26日までに山上部会長にお願いします。

⑤ 日時: 4月22日(日) 9:30~14:30 定例作業

- ・集合場所: 池の下広場倉庫前 ・集合時間: 9:30
- ・作業場所: いっしんどうエリア
- ・作業目的: 景観保全型落葉樹林を目指した保全作業
- ・作業内容: 草刈り(ササ刈り)
- ・持ち物: 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品
【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェンソー、ロープ、カケヤ

(30年5,6月号の原稿に関し、上記活動報告は星野氏、巻頭言は浅見氏、リレートークは丸山氏です。原稿の締め切りは30年4月23日(月)、押木氏迄宜しくお願いします。)

欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

(1)平成30年1月14日(日) 晴れ 9:30~14:00 いっしんどう広場にて新年安全祈願

- ・参加者: 浅見、石渡、伊藤、押木知、小宅、小嶋、佐谷、酒巻、高島、竹内、野沢、長谷川、三島、山田、渡邊、渡部 16名
- ・活動内容 ●恒例の新年の安全祈願を行った後、作業を開始。
- 大丸広場作業地Aでの杭打ち及びGPS使用による作業面積の測量。
- 一部道場丸作業地Bの杭打ち及び同面積測量と公田竹林へ先発移動に分かれて行動した。
- 作業地Aでは、作業路の構築、間伐材利用の散策路沿い整備を行う。



新年を迎え安全作業を誓う



杭をめぐけてカケヤを振る



作業面積測定作業



作業中、三人で思案中



作業を一休み中



公田竹林での竹の切り出し

(2)平成30年1月20日(土) 晴れ 9:00~14:00 自然体験教室及び新年会

- ・参加者: 区役所集合: 小宅、押木知、伊藤、長谷川、吉川、
竹林集合: 浅見、石渡、枝村、佐谷、酒巻、高島、高田、前村、丸山、三島、山上、渡邊、渡部
計18名、 体験教室参加者 17名、 区役所 4名
- ・作業内容 ●栄区役所開催の自然体験教室に協力し、竹の間伐実習と竹細工作り
- ・活動内容 ●9:30から区役所担当課長の挨拶や会長の挨拶・当会紹介等の後、参加者を5班に分け、不要の竹を伐採実習。その後区役所に移動し、午前中は豚汁用の箸を、午後は各自自由に作製し、花入れ、写真立、竹馬等作品の多くをお土産にでき、参加者(保護者8組等)のアンケート結果も好評であった。14:00に解散。

●新年会: 17:30~20:00 於: 大船『海福』

参加者: 山上、吉川、高島、渡部、高田、伊藤、押木知、小宅、戸賀澤、酒巻、三島、渡邊、竹内、浅見、枝村、佐谷、前村、計17名

●料理は美味しく、楽しい一時でした。



作製した箸で豚汁を頂く



早く鍋が煮えないかな!!



歓談中

(3)平成30年1月28日(日) 曇り 9:30~ 横浜レンジャーズと谷戸の子供教室の準備と

道場丸広場の整地

- ・参加者: 佐谷、高島、山上、渡部、三島、浅見、長谷川、小宅、伊藤、酒巻、山田 計 11名
- ・作業内容 ●体験教室時の伐採木の選定等の準備や道場丸広場の整地
- ・活動内容 ●打合せ・ラジオ体操後、道場丸に行く途中では1週間前に降った雪が未だ残っていたので、木製橋の雪かきや、散策路をふさぐ倒木を処理しながら道場丸作業地Bへ移動。
●休憩・昼食を挟み、広場の整地及び体験教室の手順の打ち合わせ。
●いっしんどう広場経由で下る途中、倒木及び枯れ木を2本チェーンソーで倒す。



苗床の様子、問題なし!!



除雪作業中



路を塞ぐ倒木の除去



道場丸広場はきれいになりました



いっしんどう広場での倒木処理



どう処理するか相談中

(4)平成30年2月4日(日) 晴れ 9:00~13:30 谷戸の子供教室の開催

- ・参加者: 山上、渡部、三島、佐谷、高嶋、山田、戸賀沢、石渡 小宅、長谷川、渡邊、中塚(事務局) 計 12名 受講者 26(8家族)名
- ・作業内容 ●前回と同様に谷戸の子供教室としてノコ・ナイフの使い方や伐採の実習
- ・活動内容 ●ヘルメット、手ノコの用意、玉切り用馬杵の設置、指導担当者選任と部員の班割、実習内容等について事前打合せし、受講生受入れ要員を残し、その他の者は道場丸に玉切り用やぐらを4ヶ所設置。
●当会紹介、実習内容、安全事項等の説明し、受講者を4班に分け、伐採体験(道場丸の植栽、樁の枝おろし:枝を抜き、風通しを良くすることでチャドクガ等の害虫対策を兼ねて)とやぐらでの玉切り実習、それと高嶋さんが用意してくれた写真立ての工作を行なう。
●体験教室を10時~12時に行い、事故もなく好評のうちに終了。
●昼食後、伐採した樁の枝でカントリーヘッジを設置して作業を終了。 13時半解散

(5)平成30年2月11日(日) 晴れ 横浜レンジャーズ・ボラ塾生の共同体験教室の開催

- ・参加者: 石渡、伊藤、押木知、小宅、酒巻、佐谷、高島、竹内、中塚、三島、山上、渡邊、渡部 計13名(戸賀澤氏ボラ塾生として参加)、 横浜レンジャーズ 10名(内指導者1名)、

ボラ塾 10名(内1名:中塚)

- ・作業内容 ●横浜レンジャーズとボラ塾生へ体験教室として林床整理・伐採などの実習
- ・活動内容 ●横浜レンジャーズの到着を待たずに作業地道場丸へ移動、受講生は3班に分かれ作業開始、3班目は横浜レンジャーズの到着を待って道場丸尾根筋を作業地とした。
- 1班と2班はボラ塾生を含め道場丸下の崖地の下草刈など急斜面での作業となった。又『チルホール』を利用して大木の杉を倒した。



崖地での作業



横浜レンジャーズ活動中



ボラ塾生等受け入れたメンバー

(6)平成30年2月25日(日) 晴れ 公田竹林の保全作業(当初予定を変更)

- ・参加者: 浅見、伊藤、小宅、佐谷、酒巻、高島、三島、山上、山田、渡部 計10名
- ・作業内容 ●公田竹林の保全作業
- ・活動内容 ●作業内容の説明、ラジオ体操後 早速枯れた竹をメインにそれぞれ分かれて処理方始め、10時40分コーヒータ임(臼井様からの差し入れを頂く)を持ち、12時まで続き作業。昼食も早々に13時半迄作業を続け解散。
- 空き缶、空き瓶など多数あり、45ℓ入りの袋に入れたが、未だ残っている。



整備作業中



コーヒータ임



竹林はゴミ捨て場にあらず

◆ リレートーク

都合により中止。

◆ 編集後記

前回担当した号の編集後記にぎっくり腰について「前回と違って、ヒシヒシと歳を感じます。次回にはどうなることやら。」と記載しましたが、またまたぎっくり腰になり、今度は整形外科を受診しました。歳相応に悪くなっているようです。「こじゆけい通信の編集を担当すると腰を悪くする」と因果関係がはっきりすれば編集担当を辞退する可能性が出てきています。この先どうなることやら！！

(枝村)